



【1】 次の(1)～(5)は、法令条文である。(ア)～(オ)にあてはまる適切な語句を①～⑤から選び、記号で答えよ。

(1) 教育基本法第1条

教育は、(ア)を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

- ① 生きる力の形成 ② 人格の完成 ③ 子どもの健全な成長
④ 十分な学力の形成 ⑤ 学びに向かう力の育成

(2) 教育基本法第13条

学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの(イ)を自覚するとともに、相互の連携及び協力を努めるものとする。

- ① 役割と責任 ② 責任と使命 ③ 立場と役割
④ 立場と関わり方 ⑤ 役割の分担

(3) 学校教育法第25条

幼稚園の教育課程その他の保育内容に関する事項は、第22条及び第23条の規定に従い、(ウ)が定める。

- ① 教育長 ② 都道府県知事 ③ 文部科学大臣
④ 園長 ⑤ 各園の教職員

(4) 学校教育法施行規則第37条

幼稚園の毎学年の教育週数は、特別の事情のある場合を除き、(エ)週を下つてはならない。

- ① 六十九 ② 五十九 ③ 四十九 ④ 三十九 ⑤ 二十九

(5) 学校保健安全法第19条

校長は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、(オ)ことができる。

- ① 治療を指示する ② 医療機関への情報を提供する ③ 児童相談所と協議する
④ 保健所への通報する ⑤ 出席を停止させる

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
1	2	3	4	5

(6) 次の(カ)～(コ)の各法令に関する内容として適切なものを①～⑧から選び、記号で答えよ。

(カ) 教育基本法 (キ) 学校教育法 (ク) 児童福祉法
(ケ) 地方公務員法 (コ) 学校保健安全法

- ① 職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない。
- ② 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。
- ③ 何人も、児童に対し、虐待をしてはならない。
- ④ 学校においては、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する指導その他保健に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。
- ⑤ 教育は、不当な支配に服することなく、この法律及び他の法律の定めるところにより行われるべきものであり、教育行政は、国と地方公共団体との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならない。
- ⑥ 子どもの貧困対策は、子どもの貧困の背景に様々な社会的な要因があることを踏まえ、推進されなければならない。
- ⑦ 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。
- ⑧ 子ども・子育て支援は、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して行われなければならない。

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
6	7	8	9	10

【2】 次の(1)～(10)は、「幼稚園教育要領」(平成29年3月 文部科学省)における5領域の内容に関する記述の一部である。(ア)～(コ)にあてはまる適切な語句を①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (1) 生活の中で必要な(ア)が分かり、使う。
- (2) 幼稚園における(イ)を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。
- (3) 感じたこと、考えたことなどを(ウ)などで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。
- (4) 友達と楽しく生活する中で(エ)の大切さに気付き、守ろうとする。
- (5) 季節により(オ)や人間の生活に変化のあることに気付く。
- (6) いろいろな(カ)に親しみ、工夫して遊ぶ。
- (7) いろいろな(キ)の中で十分に体を動かす。
- (8) 生活の中で言葉の楽しさや(ク)に気付く。
- (9) 身近な物や(ケ)に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。
- (10) 友達と楽しく活動する中で、(コ)を見だし、工夫したり、協力したりなどする。

- ① 遊具 ② 音や動き ③ きまり ④ 美しさ ⑤ 言葉 ⑥ 遊び
- ⑦ 自然 ⑧ 素材 ⑨ 共通の目的 ⑩ 生活の仕方

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

【3】 次の文は、「幼稚園教育要領解説」（平成30年3月 文部科学省）における教育課程に係る教育時間の終了後に行う教育活動などに関する記述の一部である。適切なものを①～⑨から5つ選び、番号で答えよ。

- ① 幼稚園が活動する時間は、4時間を超えてはならない。
- ② 教育課程に係る教育時間外の教育活動は、通常教育時間の前後や長期休業期間中などに、幼稚園内の実態に応じて、幼稚園が必要と考える幼児を対象に行う教育活動である。
- ③ 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動は、職業などはもっているが、子供を幼稚園に通わせたいという保護者に対する必要な支援策である。
- ④ 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動を行うに当たっては、教育活動であることから、学校教育法第22条、第23条によって示されている幼稚園教育の目的及び目標と、幼稚園教育要領第1章第1に示す幼稚園教育の基本を踏まえた活動とする必要がある。
- ⑤ 幼稚園運営に当たっては、教育課程に基づく活動と、教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動とを切り離して考えることが大切である。
- ⑥ 保護者が安定した気持ちで幼児を育てていくことは、幼児の健やかな成長にとってとても重要なことである。
- ⑦ 幼児が主体的に活動を展開するためには、保護者との温かなつながりに支えられて幼児の心が安定していなければならない。
- ⑧ 保護者の子育てに対する不安やストレスを解消し、その喜びや生きがいを取り戻して、子供のよりよい育ちを実現する方向となるよう子育ての支援を行うことが大切である。
- ⑨ 幼稚園は、地域における幼児期の教育のセンターではないので、地域に施設や機能を開放するのではなく、園内の保育に専念することが大切である。

21	22	23	24	25
----	----	----	----	----

- 【4】 次の文は、「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン～発達障害等の可能性の段階から、教育的ニーズに気づき、支え、つなぐために～」(平成29年3月 文部科学省)の一部である。(ア)～(オ)にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、記号で答えよ。

このように、各学校において行う特別支援教育の対象は、特別支援学級はもとより、通常の学級を含む、全ての教育上特別の支援を必要とする児童等であり、特別支援教育は、学校教育法第81条第2項各号に記載されている障害種のみならず、あらゆる障害による学習上又は生活上の困難を(ア)するための教育を指します。法律上は、障害による学習上又は生活上の困難を(ア)するための教育を行うものとされていますが、これは必ずしも、医師による障害の診断がないと特別支援教育を行えないというものではなく、児童等の教育的ニーズを踏まえ、後述の校内委員会等により「障害による困難がある」と判断された児童等に対しては、適切な指導や必要な支援を行う必要があります。

特に、小・中学校の通常の学級に、65%の割合で、学習面又は行動面において困難のある児童等が在籍し、この中には発達障害のある児童等が含まれている可能性があるという推計結果(平成24年文部科学省調査)もあり、(イ)が、特別支援教育に関する一定の知識や技能を有することが求められます。

また、特別支援教育を基盤として、障害の有無にかかわらず、全ての児童等が互いの(ウ)や(エ)を認め合う学校・学級作り、そして、全ての児童等の成長を促進する基盤的な環境整備が進められることが、ひいては(オ)社会の実現につながります。

- | | | | |
|-----|---------|------------------|---------|
| (ア) | ① 軽減 | ② 緩和 | ③ 解消 |
| | ④ 低減 | ⑤ 克服 | |
| (イ) | ① 全ての教員 | ② 園長や校長 | ③ 学級担任 |
| | ④ 養護教諭 | ⑤ 特別支援教育コーディネーター | |
| (ウ) | ① 意見 | ② 違い | ③ 良さ |
| | ④ 思い | ⑤ 考え | |
| (エ) | ① 特性 | ② 存在 | ③ 個性 |
| | ④ 人権 | ⑤ 尊厳 | |
| (オ) | ① 平和な | ② 共生する | ③ 差別のない |
| | ④ 共存できる | ⑤ 平等な | |

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
26	27	28	29	30

【5】 次の文は、「学校の危機管理マニュアル作成の手引」（平成30年2月 文部科学省）の一部である。（ア）～（オ）にあてはまる適切な語句をそれぞれ①～⑤から選び、記号で答えよ。

○ 危機管理マニュアルは、学校管理下で事故等が発生した際、教職員が的確に（ア）し円滑に対応できるよう、教職員の役割等を明確にし、児童生徒等の安全を確保する体制を確立するために必要な事項を全教職員が共通に理解するために作成するものです。このため、作成した後も、（イ）等の結果を踏まえた検証・見直しをすることが必要です。あわせて、学校のみならず保護者や地域、関係機関に周知し、地域全体で安全確保のための体制整備を行うことが重要です。

また、学校を取り巻く安全上の課題は、時代や社会の変化に伴って変わっていくものであり、従来想定されなかった新たな安全上の課題の出現などに応じて、柔軟に見直していかなければなりません。

○ 学校における危機管理に関する組織体制については、各学校の（ウ）に応じて、想定される危険等を明確にし（外部機関に相談することも考えられます。）、事前、発生時及び事後の危機管理に応じた体制を、家庭・地域・関係機関等と連携し、必要に応じて教育委員会のサポートを受けながら整備しておく必要があります。特に、危険等発生時の体制整備は、児童生徒等の生命や身体を守るために最も重要な部分であり、教職員等の役割分担及び（エ）・伝達方法など、全教職員の理解を図り、各自の適切な行動に結びつけられるよう、形式的なものではなく機能的で（オ）なものが求められます。

- | | | | |
|-----|------------|----------|--------|
| （ア） | ① 行動 | ② 判断 | ③ 状況把握 |
| | ④ 避難 | ⑤ 危険を察知 | |
| （イ） | ① 災害 | ② 安全点検 | ③ 訓練 |
| | ④ 消防署からの指摘 | ⑤ 避難 | |
| （ウ） | ① 実情 | ② 立地 | ③ 環境 |
| | ④ 理念 | ⑤ 経験 | |
| （エ） | ① 情報収集 | ② 現状認識 | ③ 対処手順 |
| | ④ 行動手順 | ⑤ 避難経路確認 | |
| （オ） | ① 現実的 | ② 効果的 | ③ 理念的 |
| | ④ 理想的 | ⑤ 実践的 | |

（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
31	32	33	34	35

【6】 次の文は、「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」（令和3年2月 文部科学省）に関する記述である。指導計画の作成と保育の展開について適切なものを①～⑩から5つ選び、番号で答えよ。

- ① 幼児にとっての環境は、幼児が受動的に関わり、そこで得られる体験を通して、一人一人の発達を促すものである。
- ② 計画的な環境の構成には、教師が状況の変化に即して環境を再構成する視点が大切である。
- ③ 指導計画は幼児が望ましい方向に向かって発達することを援助するために作成する。
- ④ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を到達目標に、教育課程や指導計画を編成しなければならない。
- ⑤ カリキュラムマネジメントとは、園の教育方針や特色等、園経営の概念を家庭や地域と共有することを意味する。
- ⑥ 指導計画の作成に当たっては、幼稚園は多様な活動の場であること、多様な幼児同士の触れ合いを通して共に成長していく場であることに留意する。
- ⑦ 幼児期の教育ではその後の教育の方向づけが重視され、小学校教育では具体的な目標への到達が重視されるという違いがある。
- ⑧ 指導計画作成の手順や形式には一定のものがあり、各幼稚園はそれに従うことが求められる。
- ⑨ 幼稚園教育における指導については、教師が幼児に知識や技能を与えることを指導と呼んでいる。
- ⑩ 長期の指導計画は教師全員、短期の指導計画は学級担任が中心となって作成するが、その作成過程において教師全員で話し合い、検討を重ねることが大切です。

36	37	38	39	40
----	----	----	----	----

【7】 次の（ア）～（オ）の説明について、それぞれ適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

（ア） サツマイモ

- ① つるは2～3mになり、多くの葉をつける。
- ② ほりたてのイモは甘みが少なく、1週間ほどおいてから食べるとよい。
- ③ ヒルガオ科のつる性一年草である。
- ④ 切り口から出る白い液体は腸の働きを活発にする。
- ⑤ 根がふくらんで大きくなり、デンプンを蓄えたものである。

（イ） キュウリ

- ① 皮の表面についている粉には鮮度を保つ働きがある。
- ② ウリ科のつる性一年草である。
- ③ 1つの株に雄花と雌花がつく。
- ④ 断面をみると4室に分かれている。
- ⑤ 花が咲いたら約1週間で収穫できる。

（ウ） ソラマメ

- ① マメ科のため、元肥を多くほどこす必要がある。
- ② 種はおはぐろと呼ばれる黒い部分を斜め下に向けてまくとよい。
- ③ アブラムシの防除を心がける。
- ④ さやが下に垂れてくる頃が収穫に適している。
- ⑤ 生育の適温は15～20度で冷涼な気候を好む。

（エ） マリーゴールド

- ① キク科の植物で、春から秋にかけて次々と花を咲かせ続ける。
- ② 窒素過多は花つきを悪くするため、むやみに追肥を行わない。
- ③ 花がらは摘みとらず、草丈も切り戻さない方がよい。
- ④ 花色は黄、橙、赤、花形は一重咲き、八重咲きなど様々である。
- ⑤ 挿し芽で簡単に殖やすことができる。

（オ） フウセンカズラ

- ① つる性でグリーンカーテンに適している。
- ② 開花のあと、細い茎に直径3センチほどの袋状の果実をつける。
- ③ 4月下旬から5月上旬に種子をまく。
- ④ 非耐寒性で日当たりの良い環境を好む。
- ⑤ 種の採取は、果実が緑色の時に行う。

(カ) テントウムシ

- ① ナナホシテントウは主に樹上、ナミテントウは草地に多く暮らしている。
- ② アブラムシを主食とするが、果実や花なども食す。
- ③ 春から初夏にかけて繁殖する。
- ④ 約1ヶ月かけて、卵から成虫に成長する。
- ⑤ ナミテントウの幼虫は3回脱皮をする。

(キ) クワガタムシ

- ① オスには大きな大アゴがある。
- ② 幼虫は、キノコの菌によって分解された木を食べて成長する。
- ③ 幼虫は15度前後で飼育するのが理想的である。
- ④ 幼虫期間が長く、成虫も数年生きる種類が多い。
- ⑤ 成虫を飼育する際はあし場となる枝を配置し、ひっくり返っても起き上がれるようにする。

(ク) オタマジャクシ

- ① 田んぼ、沼、小川など流れの少ない水中で見つかる。
- ② まず後ろ足が生え、やがて前足が生えてくる。
- ③ フィルターとエアポンプがなくとも飼うことができる。
- ④ 成長とともにえら呼吸から肺・皮ふ呼吸に変わる。
- ⑤ 飼育する際は、直射日光の当たる所に水そうを置く。

(ケ) ウサギ

- ① 雄と雌を一緒に飼うと繁殖するため、基本的には仕切りを設け、雄と雌を分けて飼う。
- ② 寿命は10年から13年ぐらいである。
- ③ 夜行性なので昼間は十分に休ませる必要がある。
- ④ 暑さに弱く、夏には水分を十分与え、日陰で飼うようにする。
- ⑤ 怖がりなので、おどろかさないように扱い方には十分注意する。

(コ) トンボ

- ① 夏にヤゴから成虫になり、秋になると卵を産む。
- ② 羽化は6月中頃から7月にかけて、雨や風のない夜にする。
- ③ ヤゴの餌はメダカやオタマジャクシ、ミミズなどである。
- ④ 幼虫の入った水槽は暗い場所に置くとよい。
- ⑤ アキアカネは夏になると山や高原に移動し、秋になると帰って来る。

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

【8】 次の（ア）～（オ）の絵本の一節をA群の①～⑤から、作者名をB群の⑥～⑩からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- （ア） そらいろのたね
- （イ） はじめてのおつかい
- （ウ） まあちゃんのながいかみ
- （エ） ぐるんぱのようちえん
- （オ） どうぞのいす

A群

①

②

③

④

⑤

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

B群

- ⑥ 作：筒井頼子 絵：林明子
- ⑦ 作：香山美子 絵：柿本幸造
- ⑧ 作：たかどのほうこ
- ⑨ 作：なかがわりえこ 絵：おおむらゆりこ
- ⑩ 作：西内ミナミ 絵：堀内誠一

	（ア）	（イ）	（ウ）	（エ）	（オ）
A群	51	52	53	54	55
B群	56	57	58	59	60

【9】 次の楽譜について、次頁の（１）～（５）の問いに答えよ。

ゆかいに ♩ = 72

1. しほんだま
2. しほんだま

ときえだた やとねばまずでに ときえだた やうねまれでて とすぐでに

こわられて きえた たかぜかせ ふくな しほんだま

とばそ

(1) この曲は何分の何拍子か、①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 4分の2拍子 ② 4分の3拍子 ③ 4分の4拍子
④ 8分の6拍子 ⑤ 8分の3拍子

61

(2) $\boxed{ア}$ の記号の意味についてあてはまるものを①～⑤の中から選び、番号で答えよ。

- ① その音を短く切って ② その音の長さをじゅうぶんに保って
③ その音を目立たせて、強調して ④ なめらかに
⑤ その音符をほどよく延ばして

62

(3) 楽譜の $\boxed{イ}$ 、 $\boxed{ウ}$ に入るコードの組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① $\boxed{イ}$ Bm $\boxed{ウ}$ Em₇
② $\boxed{イ}$ C $\boxed{ウ}$ D₇
③ $\boxed{イ}$ C $\boxed{ウ}$ Em₇
④ $\boxed{イ}$ G $\boxed{ウ}$ Em₇
⑤ $\boxed{イ}$ G $\boxed{ウ}$ D₇

63

(4) 楽譜の $\boxed{エ}$ にあてはまる伴奏を①～⑤の中から選び、番号で答えよ。

- ①  ②  ③ 
- ④  ⑤ 

64

(5) 楽譜の $\boxed{オ}$ の音符の長さは4分音符を1拍とすると何拍か、①～⑤の中から選び、番号で答えよ。

- ① $\frac{1}{4}$ 拍 ② $\frac{1}{2}$ 拍 ③ $\frac{3}{4}$ 拍 ④ 1拍 ⑤ $1\frac{1}{4}$ 拍

65

【10】 造形に用いる材料や用具について、次の問いに答えよ。

(1) クレヨンについての説明として適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① ロウを多く含む棒状の画材である。
- ② 艶がなく、面描と混色に向いている。
- ③ 水彩絵の具と組み合わせることでパチックに用いられる。
- ④ パスに比べて硬く、画面への定着がよい。

66

(2) 幼児期にふさわしい指導を行うためにも、幼児の発達の実情ごとを理解することは大切だ。次の①～④の記述について、一般的な絵の表現の発達の順に並び替えよ。

(絵の表現の発達の順)

I → II → III → IV

- ① 丸や形にかくなど、形が独立し、象徴的にかきはじめている。
- ② 基底線や空が表れ画面上に、空間設定ができる。
- ③ 紙の上を叩くようにして点や短線にかく。その運動感覚を楽しんでいる。
- ④ 単なる手の動きを楽しむのではなく、頭の中でイメージを描いて、つぶやきながらそれをかいている。

I	II	III	IV
67	68	69	70

【11】 次の文は、「幼児期運動指針」（平成24年3月 文部科学省）に述べられているものである。幼児期の運動の意義や発達等についての記述として適切なものを①～⑨から5つ選び、番号で答えよ。

- ① 幼児にとって体を動かすことは遊びが中心となるが、散歩や手伝いなど生活の中での様々な動きを含めてとらえておくことが大切である。
- ② 幼児期は、神経機能の発達が著しく、タイミングよく動いたり、力の加減をコントロールしたりするなどの運動を調整する能力が顕著に向上する時期である。
- ③ すばやい方向転換などの敏捷な身のこなしや状況判断・予測などの思考判断を要する全身運動は、脳の運動制御機能や知的機能の発達促進に効果はないと考えられる。
- ④ 幼児期の運動は、一人一人の幼児の興味や生活経験に応じた遊びの中で、幼児自らが体を動かす楽しさや心地よさを実感することが大切である。
- ⑤ 4歳から5歳ごろは、基本的な動きが未熟な初期の段階から、日常生活や体を使った遊びの経験をもとに、次第に動き方が上手にできるようになっていく時期である。
- ⑥ 5歳から6歳ごろは、特に全身のバランスをとる能力が発達し、身近にある用具を使って操作するような動きも上手になっていく。
- ⑦ 幼児にとって体を動かす遊びなど、思い切り伸び伸びと動くことは、健やかな心の育ちを促す効果がある。
- ⑧ 「動きの多様化」とは、同時にいくつもの動きが可能になることである。
- ⑨ 幼児の興味や関心、意欲など運動に取り組んでいく過程を大切にしながら、幼児期に早急な結果を求めるのではなく、小学校以降の運動や生涯にわたってスポーツを楽しむための基盤を育成することを目指すことが重要である。

71	72	73	74	75
----	----	----	----	----

【12】 次の(1)～(5)は、幼児教育に関係の深い人物について述べたものである。(ア)～(コ)にあてはまる語句として適切なものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

- (1) 及川平治は、日本の(ア)を牽引した教育思想家であり、実践家でもある。主著に、(イ)がある。カリキュラムを子どもの生活経験の総体と再定義し、生活単位に基づく独自のカリキュラム改造論を展開した。
- (2) 豊田英雄は、日本で最初に創設された東京女子師範学校附属幼稚園において、主任保母松野クララのもと、日本人初の幼稚園保母として保育に携わった人物である。自ら翻訳した『風車』や(ウ)は宮内庁式部寮の人々により曲がつけられ、子どもたちによって歌われた。『保育の栞』、(エ)などの手記が残されている。
- (3) キルパトリック(Kilpatrick, William Heard)は、アメリカの教育学者であり、活動主義や生活主義教育を唱えた。あらゆる学習に適応しうる一般的な方法として、(オ)を確立し、「なすことによって学ぶ」という活動重視の方法論を見出した。(カ)教育運動の指導者として、(カ)的保育にも大きな影響を与えた。
- (4) 岸辺福雄は、幼児教育者であり、1903(明治36)年に東洋幼稚園を設立し、(キ)による保育に尽力した人物である。「喃喃会」を主宰し、(キ)の指導も努めた。また、北原白秋らとともに(ク)にも参加している。
- (5) ホイジンガ(Huizinga, Johan)は、オランダの歴史家であり、人間の本質を(ケ)に見いだした。法律や戦争、知識、詩、哲学、芸術などのあらゆる人間の行為が(ケ)そのものであり、(ケ)によって生じたものとした。(ケ)は自由なものであり、仮の世界を構築する性質をもつとし、(コ)として論じている。

- ① 口演童話 ② 遊び ③ 新教育運動 ④ プロジェクト・メソッド
 ⑤ 芸術教育運動 ⑥ 『分団式動的教育法』 ⑦ 『家鳩』
 ⑧ 『恩物大意』 ⑨ 進歩主義 ⑩ 精神的創造

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)
76	77	78	79	80	81	82	83	84	85

